

平成 30 年度 事 業 報 告

1 普及啓発事業

(1) 賛助会員

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努めた。個人会員は 336 人、法人会員は 116 件であった。

(2) がん征圧月間運動

日本対がん協会と日本医師会は 9 月を「がん征圧月間」としており、また、北海道は 9・10 月を「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」としている。当協会は両者と協力し、9・10 月重点的にがん征圧運動を行っている。具体的な取組みとしては

ア 「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」行事として、北海道庁ロビーにおいて「がん予防普及パネル展」を開催した。

イ がん検診事業の拡大をはかるため、地域団体と協力して街頭PRを行った。

ウ 広報資料・がん関係資料を報道関係者に積極的に提供し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを行った。

エ 北海道医師会と連携し、がん予防ポスターを道内の医療機関及び市町村へ配付した。また、官公庁に協力を得て、がん検診受診促進のための懸垂幕・看板を提示してもらい、PRを行った。

(3) がん予防道民大会

がんに関する正しい知識を広く道民に普及することにより、がん予防活動の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和 40 年以来、がん征圧月間の中心行事として全道で開催している。

今年度は、北海道・帯広市・北海道健康づくり財団と共催し、数多くの関係団体の協賛・後援のもと、10 月 12 日(金)、帯広市民文化ホールにおいて次のとおり開催した。

本大会には、全道から 700 名が参加した。また、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了した。

大会の主な行事

○ がん予防功労者表彰

受賞団体 江別市、美幌町、清水町

○ 優良がん対策推進企業表彰

株式会社セイショウ、恵庭建設株式会社

○ 特別講演

「人はがんとどう向き合うか？」

演 者 公益財団法人日本対がん協会 会長 垣添 忠生 氏

○ 健康講演

「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」

演 者 タレント・女優・よつばの会代表 原 千晶 氏

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、札幌及び旭川センターで開講し、延べ 101 人が受講した。

イ 北海道家族の健康をまもる講習会

北海道健康をまもる地域団体連合会・北海道食生活改善推進員協議会、北海道結核予防会と共催し、平成 30 年 7 月 10～11 日の 2 日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から 参加した 56 名の受講者にごん・結核等に関する講習会を開催した。

ウ 講習会等

地域住民や保健推進員などを対象に、10 回、958 名へ講演・講習会等を行った。

(5) 事業年報

事業年報については昭和 45 年から毎年発行しており、平成 29 年度実績を収録したものを発行した。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発行

北海道対がん協会の機関誌である「しらかば」を発行した。

イ ホームページの充実

近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、ホームページでの情報提供に努めた。

ウ メディアの活用

全道版の雑誌やFMラジオなど、メディアを通じて、がん検診のPRを行った。

(7) 普及啓発の推進

ア 地区組織との連携

がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図るため、各種団体・地区組織と連携を行った。

イ 企業との連携

ピンクリボン運動等、がん征圧の趣旨に賛同する企業と連携し、工場見学と検診実施を組み合わせたツアーを企画する等、がんの知識の普及と検診の拡大を図った。また、事業所等の職員向けの健康教育にも積極的に講師を派遣した。

ウ ボランティア団体への支援

ピンクリボン運動等の啓発活動に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図った。

エ 健康まつり等への参加

各市町村が行う健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施した。

オ パンフレット、リーフレット、ポスター等

パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図った。

(8) 各種がん・生活習慣病対策会議

がん及び生活習慣病検(健)診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次のとおり会議を開催した。

ア がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所・関係者を対象に「がん及び生活習慣病対策推進会議」を次のとおり開催した。

○日時、場所

- 平成 30 年 10 月 19 日(金)13:00～16:30 ホテルポールスター札幌
- 平成 30 年 10 月 22 日(月)13:00～16:00 帯広市保健福祉センター
- 平成 30 年 10 月 23 日(火)13:00～16:00 釧路がん検診センター
- 平成 30 年 10 月 25 日(木)13:00～16:00 旭川大雪クリスタルホール

○ 報告事項

- ① 北海道からの報告
 - ・北海道のがん検診について
- ② 北海道対がん協会からの報告
 - ・平成 31 年度検診の実施計画について
 - ・がん検診の精度管理について
- ③ 受診率向上の新たな取組紹介

○ 講演

札幌会場:「子宮がんについて」

北海道対がん協会細胞診センター 所長 藤田 博正

行政の取組紹介 江別市の事例「自己採取HPV検査について」

江別市健康福祉部保健センター 参事 赤石 春佳 氏

旭川会場:「胃がんとピロリ菌について」

北海道対がん協会旭川がん検診センター 内科部長 野村 好紀

帯広会場:「乳がん検診は、だれのため」

社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院 病院長 阿部 厚憲 氏

釧路会場:「乳がんの診断と治療～早期発見の重要性について～」

独立行政法人労働者健康安全機構釧路労災病院 副院長 小笠原 和宏 氏

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

東北6県支部が集い、事業状況等について情報交換を行った。

(平成 30 年 11 月 22 日(木)秋田県にて開催)

ウ 各センター所在地と北海道対がん協会とのがん検診打合せ会議

がん検診を、円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議した。

(9) 受診率の向上

ア 受診率向上委員会の充実強化

受診勧奨方法の検討等、受診率向上策を検討・実施した。

イ 未受診者への検診勧奨

チラシ約 25 万枚、ハガキ約 4 万 3 千枚を作成、市町村へ提供し、未受診者への働きかけを行った。

ウ 受診勧奨事業者との業務提携

①株式会社 ATM との業務提携

江別市内にコールセンターを設け、市町村検(健)診の予約受付業務を代行する、(株)ATM(本社:東京)と業務提携を行い、新たな市町村からの検(健)診受託及び検(健)診受診率向上に向けた検討を行った。

②株式会社キャンサースキャンとの業務提携

市町村毎に検診未受診者の傾向等についてデータ分析し、個々に有効な文書等を発送する業務により、他都府県市町村の受診率向上対策に実績のある、(株)キャンサースキャン(本社:東京)と業務提携を行い、受託市町村の受診率向上及び新規受託に向けての検討を行った。

エ 日曜検診の実施

3検診センターで平日受診できない人などを対象に、がん検診と各種検(健)診を 16 日間実施し延べ 2,781 人が受診した。

(10) 行政との連携強化

受診率の向上に向けて、北海道をはじめ市町村と連携強化し推進した。

(11) センター検診の充実

ア センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大を図った。

イ 人間ドックの受診拡大

標準コースに CT 等を追加した、プレミアムコースを積極的に PR し、受診勧奨を行った。

ウ ホームページからの予約

夜間や休日も予約を受けられるよう、ホームページに予約フォームを設置し管理した。

(12) 検診設備(機器)の充実

ア 電子内視鏡一式の購入

胃がん検診の精度向上のため、札幌がん検診センターに電子内視鏡を購入した。また、北海道の補助により旭川センターにも購入した。

イ 巡回検診車の購入

北海道の補助により、胃肺併用X線デジタル検診車を購入し、道内巡回検診事業の強化を行った。

(13) その他

ア 北海道がん対策基金の事務局運営

当会は事務局として基金の管理・運営を行っている。平成 30 年度末の寄附額 21,967,405 円であった。また、道内でがんに関する活動を行う 5 団体へ 1,863,000 円を助成した。

イ がん電話相談事業

専任の相談員を置き「がん電話相談」事業を実施しているが、平成 30 年度の相談件数は、49 件(札幌市内 32 件、他市町村 17 件)であった。これを性別で見ると、男性 22 人、女性 27 人、部位別では、肺、大腸、胃、乳がんの順であった。

ウ 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加して、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする行事に参加協力した。

エ 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

当会が事務局を担うとともに、実行委員として活動した。

2 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力した。

また、職員の資質の向上をはかるため、日本臨床細胞学会・日本消化器がん検診学会北海道地方会・北海道公衆衛生学会等に派遣し、5 学会で延べ 11 人が発表した。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として参加。

(3) 研究事業

ア 「北海道におけるHPV併用検診臨床研究」

子宮頸がん検診受診者の内、同意を得られた方に対して、細胞診に加えHPV-DNA検査を併用実施し、これにより子宮頸部病変の検出における、HR-HPVの検出または遺伝子型 16 型 /18 型判別の実有効性を検討することを目的として行った。

イ 「北海道における自己採取HPV検査」

子宮頸がん検診受診率向上のため同意を得られた子宮頸がん検診未受診者に自己採取によるHPV検査を実施し、陽性時に細胞診、コルポスコープ検査等による精密検査、フォローアップ、観察を行い、自己採取の有効性を検討することを目的として行った。

3 会議開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 平成30年6月5日(火) 場所 会議室

第2回理事会 平成30年6月29日(金) 書面による

第3回理事会 平成31年3月18日(月) 場所 会議室

(2) 評議員会

第1回評議員会 平成30年6月20日(水) 場所 会議室

第2回評議員会 平成30年8月8日(水) 書面による

(3) 四役会

第1回 平成30年5月30日(水) 場所 役員室

第2回 平成30年8月31日(金) 場所 役員室

第3回 平成30年12月4日(火) 場所 役員室

第4回 平成31年2月25日(月) 場所 役員室

4. 集団検診事業

総括表

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車		80,425	45,762	22,805	11,858
	検 診 センター		24,304	13,924	7,015	3,365
	計		104,729	59,686	29,820	15,223
	計 画 数		118,380	69,450	32,300	16,630
	実 施 率		88.5%	85.9%	92.3%	91.5%
子 宮 が ん	検 診 車		21,751	10,674	7,812	3,265
	検 診 センター		39,158	22,821	12,242	4,095
	計		60,909	33,495	20,054	7,360
	計 画 数		65,660	37,830	19,700	8,130
	実 施 率		92.8%	88.5%	101.8%	90.5%
乳 が ん	検 診 車		24,820	12,140	8,823	3,857
	検 診 センター		43,402	25,127	14,050	4,225
	計		68,222	37,267	22,873	8,082
	計 画 数		74,880	42,130	23,500	9,250
	実 施 率		91.1%	88.5%	97.3%	87.4%
肺 が ん	検 診 車		82,871	44,395	23,975	14,501
	検 診 センター		25,250	13,339	8,286	3,625
	計		108,121	57,734	32,261	18,126
	計 画 数		110,790	58,900	32,720	19,170
	実 施 率		97.6%	98.0%	98.6%	94.6%
大 腸 が ん	検 診 車		91,682	52,730	26,056	12,896
	検 診 センター		42,423	25,954	10,840	5,629
	計		134,105	78,684	36,896	18,525
	計 画 数		134,620	80,800	36,000	17,820
	実 施 率		99.6%	97.4%	102.5%	104.0%
小 計	検 診 車		301,549	165,701	89,471	46,377
	検 診 センター		174,537	101,165	52,433	20,939
	計		476,086	266,866	141,904	67,316
	計 画 数		504,330	289,110	144,220	71,000
	実 施 率		94.4%	92.3%	98.4%	94.8%

*肺がん検診にはヘリカルCT含む

総括表

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
前立腺がん	検 診 車		11,437	4,944	3,514	2,979
	検 診 センター		4,781	2,793	1,266	722
	計		16,218	7,737	4,780	3,701
	計 画 数		17,130	8,380	4,900	3,850
	実 施 率		94.7%	92.3%	97.6%	96.1%
特 定 健 診	検 診 車		45,501	20,536	15,700	9,265
	検 診 センター		13,549	8,783	3,500	1,266
	計		59,050	29,319	19,200	10,531
	計 画 数		61,550	31,450	19,200	10,900
	実 施 率		95.9%	93.2%	100.0%	96.6%
定期健康診断	検 診 車		23,419	17,438	3,757	2,224
	検 診 センター		8,661	4,882	1,592	2,187
	計		32,080	22,320	5,349	4,411
	計 画 数		28,980	20,630	5,100	3,250
	実 施 率		110.7%	108.2%	104.9%	135.7%
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	検 診 車		1,172	502	390	280
	検 診 センター		7,240	4,650	1,399	1,191
	計		8,412	5,152	1,789	1,471
	計 画 数		6,730	3,800	1,600	1,330
	実 施 率		125.0%	135.6%	111.8%	110.6%
人間ドック	検 診 車		94	-	94	-
	検 診 センター		2,220	1,502	502	216
	計		2,314	1,502	596	216
	計 画 数		2,510	1,750	550	210
	実 施 率		92.2%	85.8%	108.4%	102.9%
骨 検 診	検 診 車		1,147	927	82	138
	検 診 センター		8,133	5,499	2,202	432
	計		9,280	6,426	2,284	570
	計 画 数		12,010	8,800	2,480	730
	実 施 率		77.3%	73.0%	92.1%	78.1%
婦人科超音波	検 診 車		17,598	7,507	7,423	2,668
	検 診 センター		35,592	19,783	12,024	3,785
	計		53,190	27,290	19,447	6,453
	計 画 数		57,185	32,185	17,850	7,150
	実 施 率		93.0%	84.8%	108.9%	90.3%
腹部超音波	検 診 車		230	-	230	-
	検 診 センター		3,490	2,965	165	360
	計		3,720	2,965	395	360
	計 画 数		4,080	3,330	400	350
	実 施 率		91.2%	89.0%	98.8%	0.0%
小 計	検 診 車		100,598	51,854	31,190	17,554
	検 診 センター		83,666	50,857	22,650	10,159
	計		184,264	102,711	53,840	27,713
	計 画 数		190,175	110,325	52,080	27,770
	実 施 率		96.9%	93.1%	103.4%	99.8%
合 計	検 診 車		402,147	217,555	120,661	63,931
	検 診 センター		258,203	152,022	75,083	31,098
	計		660,350	369,577	195,744	95,029
	計 画 数		694,505	399,435	196,300	98,770
	実 施 率		95.1%	92.5%	99.7%	96.2%